

各位



大阪府大阪市で全館冷凍冷蔵物流施設「大阪市住之江区南港東三丁目計画」が竣工

JA三井リース建物株式会社(本社所在地:東京都中央区、代表取締役社長:工藤 真樹、以下 JA 三井リース建物)は、大阪府大阪市住之江区で開発を進めていた全館冷凍冷蔵物流施設「大阪市住之江区南港東三丁目計画」が2026年2月28日に竣工したことをお知らせします。

本施設は、港湾冷蔵株式会社(本社:大阪市住之江区、代表取締役社長:福井 彩)の専用施設として、輸入畜産原料の輸配送拠点として活用される予定であり、保管能力の強化に加え、サプライチェーンの最適化および物流オペレーションの効率化に寄与するものと考えております。



【当施設の立地】

- ・冷凍冷蔵貨物が集積する南港エリアに立地し、東南アジア・中国航路が充実した大阪南港コンテナターミナルへは15分圏内と好アクセスであることに加え、生鮮・冷凍品の輸出入において必須である動物検疫の検査を庫内で受けられる希少な冷凍冷蔵物流適地。
- ・阪神高速4号湾岸線「南港中IC」より約1.2kmの距離にあり、梅田までは約10kmと大阪市中心部へのアクセスが容易な好立地。
- ・南港ポートタウン線(ニュートラム)「南港東駅(徒歩約9分)」と徒歩での通勤が可能であり、周辺には住宅エリアがあることから、雇用の確保にも適した立地。

【当施設の特徴】

- ・地上4階建ボックス型の全館冷凍冷蔵シングルテナント型物流施設。
- ・2階から4階の冷凍庫エリアは有効天井高を6.0m確保することで、パレット積載率の向上による保管量の増加が可能。また、床荷重は2.0t/m²とし、保管効率を向上する移動ラックの設置にも対応可能となっており、カスタマー企業の効率的な荷物の保管を実現。
- ・3階から4階に休憩所を設け、快適な就労環境を整備。

【当施設のサステナビリティへの取り組み】

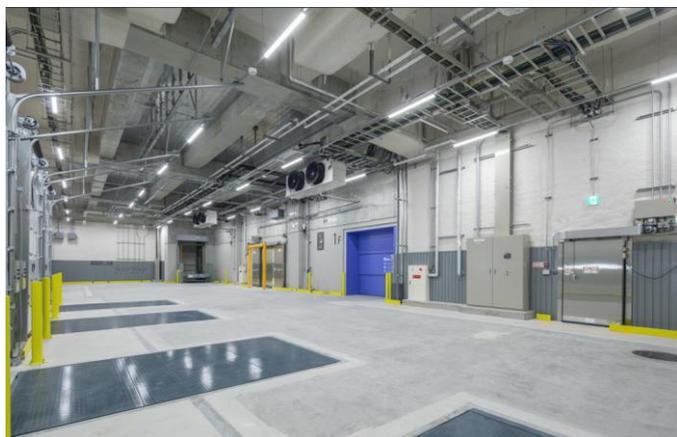
- ・災害への対応:キュービクル、冷却設備などを嵩上げすることで浸水や液状化対策を講じ、また非常用発電機を設置することで高い事業継続性を確保。
- ・再生可能エネルギーの活用:自然冷媒(CO₂)の採用、全館LEDの整備などを予定し、入居企業のサステナブルな取り組みをサポート。

【物件周辺図】

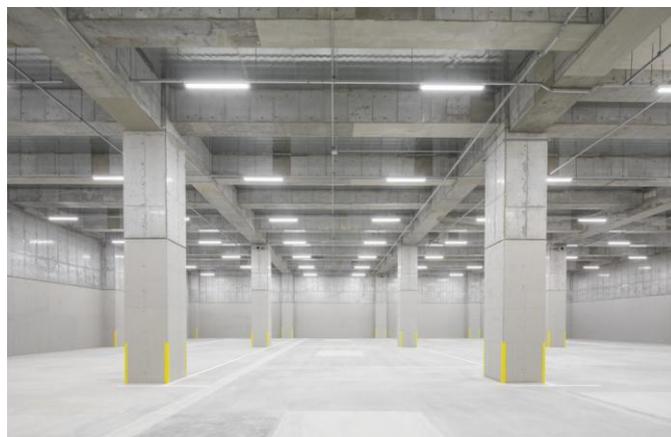


「大阪市住之江区南港東三丁目計画」周辺図

【施設内写真】



(1F 低温庫)



(3F 冷凍庫)

【施設概要】

施設名:「大阪市住之江区南港東三丁目計画」
所在地:大阪府大阪市住之江区南港東三丁目 1-72
敷地面積:3,652.26 m²(約 1,104.80 坪)
床面積:7,330.40 m²(約 2,217.44 坪)
構造:鉄筋コンクリート造陸屋根 4 階建
着工:2024 年 7 月 1 日
竣工:2026 年 2 月 28 日

以上